

## 第2次富山市総合計画後期基本計画（案）の パブリックコメントにおけるご意見と市の考え方

第2次富山市総合計画後期基本計画（案）について、パブリックコメントを実施した結果、次のとおりご意見が寄せられましたので、それに対する市の考え方と併せて公表いたします。

1 実施日 令和3年9月21日（火）から10月15日（金）まで

2 ご意見の提出状況 意見者数 5人  
意見数 15件

No.	項目	ご意見	市の考え方	担当部局
1	I-1-(1) 計画案 41P	不登校の児童生徒数の減少を目指すことを目標に挙げられているが、それだけではなく、何らかの事情で学校に通えない児童生徒の受け皿となるような場所やスタッフの拡充が必要ではないか。	教室に入りづらいと感じている子どもたちに対し、学校においては相談室登校や保健室登校などの柔軟な対応を行っております。また、学校に行きづらいと感じている子どもたちに対し、市教育委員会においては豊田、婦中の2箇所の適応指導教室で受け入れを行っているほか、「富山市子どもの村」での自然体験を通じた自立支援を実施し、登校復帰に向けた支援を行っております。  これに加え、不登校児童生徒への支援につきましては、県教育委員会等の関係機関との連携を図るとともに、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを配置し個別支援の充実を図るなど、より一層きめ細かい対応に努めてまいります。	教育委員会
2	I-3-(1) 計画案 63P	子ども会（地域児童健全育成事業）は、指導員の高齢化や離職のため、指導員が不足している。給料（報酬）が安いことも理由にあるのではないか。適した指導員の拡充のため、給料を増やしたり、指導員確保につながる施策が必要ではないか。	地域児童健全育成事業は、各校区の運営協議会へ委託し実施しており、市の委託料から指導員に支払われる報酬の額については、各運営協議会において決められております。  本市では、指導員を確保するため、広報への募集記事の掲載や、学生を対象とした説明会の開催、退職教員への協力依頼などに取り組んでおります。  今後とも、地域児童健全育成事業及び放	こども家庭部

No.	項目	ご意見	市の考え方	担当部局
			課後児童健全育成事業の充実を図り、留守家庭児童の健全育成、及び保護者の子育てと仕事の両立支援に努めてまいりたいと考えております。	
3	IV-1-(2) 計画案 169P	性的少数者(LGBTQ)について、計画内には触れられていないと思うが、性の多様性を啓発し、多様性や人権教育を推進する施策、居場所や交流スペースを設置する施策を希望する。	性的少数者(LGBTQ)については、一人ひとりの個性と創造性を尊重する地域社会づくりを推進するため、これまでも、民間団体との協働により、庁舎及び学校などでのポスター掲示やパネル展示、研修会などを通じて、市民への啓発や学びの場の提供に努めてきました。今後も本市が主催するイベントなどを通じて、より一層理解が深まるよう啓発等に取り組んでまいりたいと考えております。	市民生活部
4	I-2-(2) 計画案 56P	ひきこもりの状態にある方が社会と関わりをもち、参加してもらうことで、より生き生きとした社会になり、働き手の増加にもつながると考えるが、ひきこもりの状態にある方のニーズに応える施策、例えば、交流の場や居場所づくり、専門相談員の増員、やりたいことを気軽にチャレンジできる就労の仕組み作りなどの施策の実施をお願いしたい。	ひきこもりの状態にある方の社会参加への支援につなげるため、教育、児童、保健、福祉などの分野の支援者による若年層の対策を推進する「ひきこもり予防ネットワーク会議」と、中高年の対策を推進する「ひきこもり丸ごと情報交換会」を開催し、関係機関とのネットワークづくりを進め、それぞれ支援者が相互の役割を理解、共有し、本人や家族に寄り添いながら支援していただいております。  また、市では、居場所づくりとして、居場所の提供を目的に活動しているNPO法人などに対し、その費用の一部を助成するわがまちサロン事業を実施しております。  さらに、県では、市町村職員や家族会など、ひきこもり支援団体などを対象とした研修や、民生委員や家族会などのひきこもり支援に関心のある方を対象としたサポーター養成研修を実施しております。  市といたしましては、ひきこもり状態にある本人や家族が、人や地域とのつながりを求めたときに、その機会を逃さず、適切な支援につながるよう、関係機関等との相互連携や居場所づくりに努めてまいりたい	福祉保健部

No.	項目	ご意見	市の考え方	担当部局
			と考えております。	
5	IV-1-(2) 計画案 169P	すべての人が輝き、安心して暮らせて、一人ひとりが尊重される富山市になるよう、日頃から光が当たりにくい人たちのことも考え、計画内に盛り込んでほしいと思う。	ご趣旨については、IV-1-(2)「一人ひとりが尊重される地域社会づくり」において、基本計画の柱である「施策の方向」や「市民に期待する役割」の中で記述しております。	企画管理部
6	II-2 計画案 95P	<p>まちなか開発ばかりではなく郊外にも力を入れてほしい。</p> <p>富山市には昔から都市計画道路の計画が数多くあるが、市の財政が厳しい状況であれば、まちなかの開発計画を縮小、廃止し、都市道路や未来ある子供達や他の事に使った方が良くはないか。</p> <p>都市計画をやめる条例を作れば、都市計画の対象で放置されている土地での住宅やマンション建設などにつながり、固定資産税の税収が増えると思う。</p>	<p>コンパクトシティ政策を進めてきたことにより、市では、まちなか居住人口や公共交通沿線居住人口の増加、人口の社会増、さらには、地価の上昇といった成果が表れており、特に、市税収入の約半分を占める固定資産税と都市計画税について、平成24年度と令和3年度の税額を比較すると、中心市街地エリアでは約5.4%、市域全体では約11.1%増加しております。特に、市域の約0.4%である中心市街地が生み出す固定資産税と都市計画税は、市全体の税収の約4分の1を占めていることから、中心市街地エリアへの投資効果は非常に大きな意味を成しているものと認識しています。</p> <p>今後も、コンパクトシティ政策を継続し、深化させることで、この政策の成果を全市域にいきわたらせていけるよう取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>なお都市計画道路については長期未着手の路線を対象に、富山県が策定した「都市計画道路見直しの基本的方針」に基づき、計画の必要性・実現性・妥当性などを検証し、住民と合意形成を図りながら見直しを進めているところであります。</p>	活力都市創造部
7	IV-1-(2) 計画案 169P	「すべての人が（輝き安心して暮らせるまち）」、「SDGs と関連付けて」というフレーズを謳っているが、いまだに「男女共同参画」という言葉を多用するのは従来の古い価値観を引きずっている印象を受ける。	市では、「富山市男女共同参画推進条例」で掲げた豊かで活力に満ちた男女共同参画社会の実現を目指して、個別計画である「富山市男女共同参画プラン（以下、プラン）」に基づき、様々な施策に取り組んでおります。	市民生活部

No.	項目	ご意見	市の考え方	担当部局
		<p>・男女の役割を決めつけない考え方（ジェンダー）</p> <p>・性のあり方の多様性（LGBTQ）</p> <p>の2点にも気を配るべきだと思う。</p> <p>SDGsが国際基準であるように、ジェンダー平等やLGBTQ（性的マイノリティ）への理解も国際常識である。</p> <p>総合計画には「障害者」と「高齢者」、「外国人」については記述があるが、性的マイノリティとジェンダーについて、啓発・サポートする視点がない。計画にこの考えを盛り込むことで「すべての人」を限りなくカバーできるのではないか。県内で先進的に富山市が取り組んでほしい。</p> <p><b>【上記視点を盛り込んでほしい施策】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・I-3-(2) 高齢者・障害者への支援</li> <li>・I-3-(3) 保健・医療・福祉の連携、充実</li> <li>・III-3-(1) 多様な雇用機会の創出</li> <li>・III-3-(2) 勤労者福祉の向上</li> <li>・IV-1-(2) 一人ひとりが尊重される地域社会づくり</li> </ul>	<p>「ジェンダー」とは社会的・文化的に形成された性別であります。このつくられた男女の役割分担を変えていくことが「ジェンダー平等」につながり、その平等を当然の前提として、男女が対等な構成員としてあらゆる活動に参画し、共に責任を担うべき社会である「男女共同参画社会」が形成されるものと考えております。</p> <p>このことから、ジェンダー平等と男女共同参画については、同根のものとして、今日においても共に取り組むべき課題と捉えており、「IV-1-(2)一人ひとりが尊重される地域社会づくり」におけるSDGsの目標の一つに「5 ジェンダー平等を実現しよう」を位置付けるものであります。</p> <p>次に、性のあり方の多様性（LGBTQ）については、一人ひとりの個性と創造性を尊重する地域社会づくりとしてこれまでも、民間団体との協働により、庁舎及び学校などでのポスター掲示やパネル展示などを通じて、市民への啓発等に努めてまいりました。今後も本市が主催するイベントや職員研修などで重点的に啓発を行い、より一層理解が深まるよう努めてまいります。</p>	
8	<p>II-3-(3) 計画案 112P</p> <p>II-1-(4) 計画案 85P</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市電沿線ばかり重視し、その他の富山地域（特定のエリア）の道路整備がなおざりになっているのではないか。街灯がない歩道、側溝に蓋がない道路、抜け道になっている狭隘な道路、歩行者・自転車の動線があるのに横断歩道や信号がない交差点、狭い歩道、融雪装置がない歩道等、車から歩行者を守り、安心して歩ける環境整備がないがしろになっていると感じる。</li> <li>・地方鉄道本線の線路上を立体化している道路（富山環状線）は、車にとっては良いが、自転車・歩行者は歩道のない狭い道を遠回りしなければならず、軌道を</li> </ul>	<p>II-1-(4) 施策の方向⑤及び⑥（88P）等に記載のとおり、交通支障箇所や危険個所の把握、安心な歩行空間の確保に努めているところであります。</p> <p>引き続き、限られた財源の効率的な配分に配慮しながら、着実な整備の推進に努めてまいります。</p>	建設部

No.	項目	ご意見	市の考え方	担当部局
		<p>高架化し道路を地上に下ろせば（逆立体化）不便が解消されるのではないかと。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「とほ活」に取り組むのであれば、粗悪な歩道（街路樹、根上がり、段差）を改良することが先決ではないかと。</li> <li>富山視覚総合支援学校の位置も良くなり、周辺の道路状況も悪いため、事故が起きても不思議ではないと思う。</li> </ul>		
9	II-4-(1) 計画案 120 P II-4-(3) 計画案 126 P	<p>行政によるスチール缶や瓶の回収が2週間に1回しかなく不便なため、スーパーなど店頭での回収があると良い。家庭ごみの有料化の導入は、市民が納得できる収入の用途とするとともに、市外への不法投棄につながらないように慎重に行うべき。</p>	<p>市といたしましては、引き続き、市民・企業・行政の協働による循環型社会の形成に向けた機運の醸成に努めてまいります。</p> <p>なお、家庭ごみの有料化については、他都市の事例なども参考に、今後検討してまいりたいと考えております。</p>	環境部
10	II-2-(5) 計画案 105 P II-1-(4) 計画案 85 P	<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通を金銭的に無理なく使える仕組みづくりが必要ではないかと。例えば、赤字分は行政負担という前提で運賃に上限を設ければ、鉄道やバスの利用者が戻り、利用収入の増により財政負担もなく運行できるのではないかと。</li> <li>東新庄・荏原駅について、駅の南側に出入口を作る、もしくは地方鉄道本線の稲荷町駅から寺田駅付近までLRT化し、利便性を改善してはどうか。</li> <li>富山駅東側暫定駐輪場を恒久設置とする、もしくは駅南第一駐輪場の利用を24時間または0時半までに延長すれば、最終新幹線などで富山駅に到着した場合でも自転車が使えて便利になるのではないかと。</li> </ul>	<p>公共交通や自転車の利用促進に向けた利便性の向上については、様々な方策があるものと認識しておりますが、引き続き、関係事業者との協議を含め、総合的に検討してまいりたいと考えております。</p>	活力都市創造部 市民生活部
11	II-2-(5) 計画案 105 P	<p>富山大学附属病院が市街地から遠く、公共交通でのアクセスが悪いため、子どもの医療体制も心許なく感じるのではないかと。</p>	<p>II-2-(5) 施策の方向④「生活交通の確保」(107 P)において述べているとおり、バス交通の確保、維持のため、生活バス路線や地域自主運行バスへの支援を継続するとともに、公共交通の乗り継ぎなどの利便性の向上に努めてまいります。</p>	活力都市創造部
12	I-1-(1) 計画案	<p>中学の3年間は最もいじめの起きやすい時期と言われる。高校の空き教室を活用し</p>	<p>中学校でのいじめ対策としましては、日ごろの見守りやアンケート調査等による早</p>	教育委員会

No.	項目	ご意見	市の考え方	担当部局
	41 P	た中高一貫コースを作れば、年齢幅が広い環境で子どもを安心して育てることができ、大学進学実績の向上にもつながるのではないか。	<p>期発見・即時対応に努めるとともに、比較的発見されにくいインターネット上でのいじめにおいては関係機関との連携を図りながら情報モラル教育を推進するなど、未然防止にも努めております。</p> <p>なお、本市には現在のところ、市立の高等学校はございませんので、ご意見にあります高校の空き教室を活用した中高一貫コースの設置に関しては、特に検討しておりません。</p>	
13	Ⅱ-3-(3) 計画案 112 P	道路や公園のメンテナンスについて、市民が画像と位置情報をスマホアプリで市に送信するシステムを導入してはどうか。	本市では、現在市民の方がスマートフォンで撮影した画像を市に通報する、「道路損傷通報システム」を運用しているところであり、市民の皆さんへのさらなる周知に努めてまいります。	建設部
14	Ⅱ-1-(5) 計画案 90 P	富山市はガス代が割高なので、プロパンガスから都市ガスへの転換をもっと強力にすすめてはどうか。	民間の事業者が判断されるべき事項であるものと考えます。	企画管理部
15	Ⅱ-3-(3) 計画案 112 P	公共交通機関を使って行ける富山駅や西町周辺に、子どもが何度も繰り返し遊びたくなる長い滑り台のある大きな公園があると良い。	公園の新設については、近隣住民の理解を得ることに加え、規模や立地条件、既存施設との距離、ニーズ、整備費、維持管理費などを総合的に勘案する必要があります。ご意見につきましては参考とさせていただきます。	建設部